

# きたすま

罪が増したところには、恵みはなおいっそう満ちあふれた  
(第二朗読主題句 ローマ5・20)

No.200 (3月号)

2020年 3月 1日発行  
発行 カトリック北須磨教会  
〒654-0151  
神戸市須磨区北落合2-3-1

発行人 高橋 聡  
編集 広報委員会

## 冷静さを保つこと

グイノ・ジェラルド神父

ある町に、どんな手術でも必ず成功させることで有名な外科医がいました。ある日、緊急手術のために病院から急に呼び出されました。小学生の男の子が危篤になり、緊急手術の必要があったからです。この外科医だけがこの少年を救うことができました。外科医は自分のことはそのままにして病院へ急ぎ、着いた途端、手術着に着替えながら手術室へ急ぎました。すると危篤になった少年の父は外科医を見つけるや、激怒して怒鳴りつけました。「お前は、ここに来るのにどうしてそんなに時間がかかったんだ！私の息子の命が危ないことを知っているんだろ。息子を殺すつもりか。お前は有名な外科医だと聞いたが、全く責任感がない奴だ！」と。

それを聞いた外科医は、静かに優しく微笑みながら答えました。「本当に申し訳ございません。私は他の用事で別の場所にいたので、出来るだけ急いで病院に戻りました。少し落ち着いてください。私は今から手術をしなければなりませんから」と。「落ち着け！こんな状況で落ち着けと言うのか？馬鹿ばかしい…。お前の子どもが死にかかっているけど、お前は落ち着くことが出来るのか…！」と、父親は興奮して言いました。外科医は冷静に、「あなたの息子さんを救うために、私の力のすべてを尽くしますので、まずは落ち着いてください」と父親を宥めながら、手術室に入りました。「きれいごと

を言うな！」。苛立っている父親は叫びました。

何時間も経って、やっと外科医が手術室から出て来ました。病院に来た時に着ていた服を無造作に袋に突っこみながら、少年の父親にこう言いました。「神に感謝！あなたの息子さんは助かりました。もう大丈夫です。落ち着いてから、詳しい話を看護師長たちに聞いてください」。そう言って、手術着を着たまま、急いで病院の出入り口に走って行きました。男の子の父親は喚きながら「どうしてこの外科医はこんなに高慢で、偉そうにしているのか？息子の状態をなぜ今自分で説明しないのだ！」近くにいた看護師長に聞きました。

看護師長は、急に泣きそうになりながら父親に答えました。「あの外科医の息子さんは、昨日学校からの帰りに車に強く衝突され事故で死んでしまいました。あなたの息子さんの手術のために、外科医を呼んだ時、彼は葬儀へ行く準備をしていました。あなたの息子さんの命を救ったあと、自分の息子の葬儀に急いで戻ったんです。ですから、あなたも落ち着いて冷静さを守ってください。あなたの息子さんは救われました、しかし、あの外科医の息子さんを救う人はいません。」と

思いがけない出来事に会う時には、落ち着いて、ステップバック（一歩退く）する必要があります。不幸のせいで何をした

らよいか分からない時や何も出来ない状況に置かれた時、人は自然に怒り出し、苛立ってしまいます。落ち着くことなどなかなか出来ません。なぜなら、いつも不安と無力さが人の冷静さを奪うからです。聖書は「落ち着けば、大きな過ちも見逃してもらえ」（参照：コヘレト 10,4）と教え、聖

パウロも「落ち着いた生活をする」（参照：1テサロニケ 4,11）ことを勧めています。ですから人を傷つけないように、過ちを防ぐために、今日のたとえ話にあった外科医のように、私たちも思いがけない出来事を耐え忍びながら、人の平安を望んで、冷静に生きていきましょう。

## 寄稿

## 昼間の星

マリスト教育修道士会 吉田 治美

終戦の年、私は中学二年生だった。家族七人でソウル（京城）から引き揚げてきた。父母の親せきを頼って久留米市、熊本市に来てみると、空爆で一面焼野原。七人もの家族の落ち着き先を探して父母は大変な苦勞をしたにちがいない。幸い母方の遠い親戚の農家に泊めていただけのことになった。翌年春には近くに一軒の小さな藁葺きの農家が空いていたのを借りて、皆で引越した。電気も水道もない。夜は石油ランプを灯し、水は坂を少し下った湧き水のある所へ手桶をさげて往復した。その内に二人の兄も無事復員してきた。父が私を中学へ、妹を小学校へ、弟を村の小学一年生にと手続きをすべて徒歩で回ってしてくれた。バスも、電車もない農村地帯だったから。父に感謝。

この農村で中学五年生まで過ごした私は、一人で熊本市に出て、下宿をしながら市内の高校に通った。この年の学制改革で、それまで六年だった旧制中学は、中学三年と高校三年に分けられることになった。中

学五年を終えていた私は、高校を一年通っただけで熊本高校の第一期生として卒業することができた。すぐ熊本大学の入試を受けたが不合格。学力も不足だったし、耳の検査でも引っかかったと思う。引揚げ以来、子供のころから耳が悪かった私は耳鼻科に行くのを四年も怠っていたのだ。耳の状態はかなり悪かった。先に福岡市に越していた長兄の家に厄介になりながら、耳鼻科の病院に通った。翌年の大学入試を見送ってしまうと、大学進学は遠くなって行った。

その後私は東京の字形の下宿先にお世話になりながら、テレビ技術の研修に通った。白黒テレビが出回り始めていた頃である。研修所は渋谷にあった。忠犬ハチ公の像から北に道玄坂という所がある。私はこの坂で危うく命をおとしかけた。

道玄坂は片側二車線の道路。研修に遅れないように私は少し急いでいた。上り線下り線の信号が共に赤で車の流れが止まっていた時、信号も横断歩道もない所を足早

に渡って行こうとした。中央ラインに達した時、車の流れがもう始まっていた。流れは予想外に速く、私は中央ラインで立ちすくんだ。そこにじっとしていればまだよかったのに、私は実に愚かなことをした。元いた所に小走りに戻ろうとしたのだ。驚いた先頭の車の運転手が力いっぱいブレーキを踏んだので、キキーッという甲高い音が道玄坂一帯に響き渡った。もう遅いと悟った私は本能的に近づく車にお尻を向け、少しお尻を突き出すようにして身構えた。追突された衝撃は、車が急減速中だったにしても大変なものだった。私は宙を飛んだ。両腕、両足を左右に広げ大の字になって飛んだ。そしてどーんと道路に尻もちをついた。大勢の人が見守る前で私は立ち上がり、体のあちこちをさわったり動かしたりし

てみたが、不思議にどこにも痛みも異常も感じなかった。駆け寄って来た運転手の手を払いのけ、私は逃げるようにその場からいなくなった。猛烈に恥ずかしかった。研修を終えて下宿に戻ってからも、翌朝になってからも、体のどこにも、痛みも異常も全く感じなかった。

あれから六十数年になる。大怪我をするか、悪くすると死んでいたかも知れないあの出来事は忘れることができない。最近聖書を読んでいて、ふと次の言葉に出会った時は、思わずアーンと声が出そうになった。

「主はすべての悪からあなたを守り、あなたの命を守ってください。主はあなたの出入りを見守ってください。今からとこしえに。」(詩 121・7 フランシスコ会訳)

\* \* \* \* \*

(追記)私は普段は新共同訳の聖書を用いていますが、何かあれば他の聖書と比較してみたりします。上・下線を引いた部分は、新共同訳では次のようになっています。

「主がすべての災いを遠ざけてあなたを見守り、あなたの魂を見守ってくださいのように。あなたの出で立つのも帰るのも主が見守ってください。今も、そしてとこしえに。」(詩編 121・7 新共同訳)

上の句と下の句の違いは、まず命が魂となっていること。この魂はラザロの墓の前でイエスがマルタに言われた「わたしを信じる者は、死んでも生きる」(ヨハネ 11・25)、つまり死後の永遠の命のことです。永遠の命のことですから、新共同訳のように願望の形になっているのもうなずけます。新共同訳のはカトリックとプロテスタントが共同で仕上げたもので、魂と命は同じ意味で使われていると思います。

ただ道玄坂でこの世の命を失うかと思われるような体験をした私にとって、フランシスコ会訳の言葉は、いつ読んでも力強く心に迫ります。神の現存を実感させられる思いがします。また日頃つい忘れがちな守護の天使の存在と働きも感じさせられます。



## 典 礼 奉 仕 者 表

典礼委員会

月 日 主 日	司 式	先 唱 者	オルガン	聖書朗読	答 唱	共同祈願	ミサ準備	聖体奉仕
3・15(日) 10:00 四旬節第3主日	Fr. 林	HK	TK	①MA ②WH	IT	3・6B・ 7地区	KM (洗)YM	
3・22(日) 10:00 四旬節第4主日	Fr. 中川	TY	TK	①AY ②OM	HK	5地区	KT (洗)YM	NY HK
3・29(日)10:00 四旬節第5主日	Fr. 林	YS	TY	①IM ②KS	DJ	5地区	KM (洗)YM	

〔註〕①担当に変更のある場合は、お聖堂入口の掲示表を赤ボールペンでご修正下さい。

②聖体奉仕は司祭から指示のある場合のみご対応下さい

### 評議会より

3月末までに新委員長を選出して頂くことになっております。

これまで各委員会の委員長として教会のためにご尽力くださった方々に心から感謝いたします。ありがとうございました。私はコミュニケーションを大切にしたいと思って色々な場面に臨んで来ましたが、なかなか難しいというのが本音です。以前、コミュニケーションに大切なこととはという話を聞いたことを思い出しました。Listen, (耳をかたむけて聴く), Open (心を開く), Voice (思いを声に出す), Enjoy(この場を楽しむ)頭文字をとり LOVE です。私に足りなかったのは?と自問自答の日々が続きます。黙想会、アベイヤ司教様のお話からヒントを頂けるように思います。と書いていましたら、大阪教区よりの通達が届きました。2月29日から3月14日まで、ミサ及び教会での行事を全て差し控えるようにとの事。連絡網を回さなければ、無事皆さまに届きますように。今回の事は前代未聞の事、神様は私たちに何を伝えておられるのか?四旬節の黙想課題として受け止めたいと思いました。2週間後お会いできるようにと心を込めてお祈りします。

### お 知 ら せ

☆転入されました☆

マリア・フランシスコ ICさま  
兵庫教会から第7地区(垂水区名谷町)へ  
ようこそ北須磨へ

☆帰天されました☆

洗者ヨハネ FKさま  
1月28日にご帰天なさいました

クリスティーナ MRさま  
2月7日にご帰天なさいました

永遠の安息とご遺族の平安をお祈りします

☆社会福祉支援基金☆

本年度の支援先が決まりました。今年はずーがありませんでしたが、皆様のクリスマス献金と教会からの拠出を合わせ15件、36万円(昨年42万円)をお送りすることが出来ました。ありがとうございました。

	支 援 先 名	金額
1	社会活動神戸センター	60,000
2	神戸の冬を支える会	40,000
3	ふっこうのかけ橋	20,000
4	こどもの里	20,000
5	コムニタス	20,000
6	阪神カトリック女性の会(いのちを守る運動基金)	20,000
7	東条湖の家(NPO/ア)	20,000
8	日本カトリック難民移住者委員会	20,000
9	ふるさとの家	20,000
10	フオンダシオ(Fondacio)	20,000
11	AlCJapan ウォーター & フードアジア	20,000
12	釜ヶ崎・出会いの家	20,000
13	アガベの家	20,000
14	船員司牧活動	20,000
15	少年の町	20,000
	合 計	360,000

「きたすま」200号記念おめでとうございます。

高橋 聡 神父

「きたすま」200号記念おめでとうございます。今まで編集や印刷に携わってこられた方々本当にありがとうございます。毎月毎月、原稿を集めて編集し、また、毎月の行事や予定を掲載することは、続けていくだけでもそれ相応の労力がいると思います。私のように原稿が遅れる人もいるでしょう。いつもご迷惑をおかけしています。このように、「きたすま」は、教会には、当たり前のことのように思えることの陰に色々と働いてくださる方々がいるということを表す一つの象徴となっているかもしれません。「きたすま」には、司祭の巻頭言、予定表、行事や評議会の報告、お知らせ、行事等に参加された方の感想、当番表、信徒動静などが掲載されています。これを通して私たちは、北須磨教会の活動を知ることができる、よい媒体となっています。この媒体がまた将来、福音宣教のための媒体、さらに信仰を深めるための媒体、あるいは典礼などを学ぶ媒体になれば、また更に素晴らしいものになるかもしれません。

実は様々な教会で、担当者の減少により、こういう教会報が廃止、縮小されるケースが起こっています。こういう実情を考えますと、「きたすま」が毎月発行されていることは、とても貴重で助けになることです。そしてまた、「きたすま」が北須磨教会の信徒の連帯感を生みだす一助になることを願っています。今までの歩みを神に感謝します。

## 編 集 後 記

記念すべき200号に微力ながらお手伝いできましたことを嬉しく思います。イエス様と歩んで来られた北須磨教会の道のり。その一瞬一瞬を切り取った広報きたすまのお手伝いをさせていただき感謝しています。(TJ)

毎月最終土曜日に集まり印刷、そして次号の編集会議。小さな積み重ねですが、創刊以来の「きたすま」を繰ると、年月の重みと記録の確かさ、大切さを思う。私自身の4半世紀とも重なり感慨深い。このささやかな歩みがこれからもみ旨にかなうものでありますように。(TMH)

100号の時、次は8年半後と書きましたが、ひと月一いつの間にかその時が来ました。月日の経つのは早いものです。年を取るにつけマンネリにならぬよう注意しているつもりですが、皆様の寄稿等、ご協力をお願いいたします。次の8年半後はどうなっているかな?(KJH)

200号を迎えました。月末の印刷・編集会議、月1回の発行もすっかり定着し、メンバーのスキルや印刷方法も進化しています。何年後かになって、あの頃・あの時を振り返る際、広報紙「きたすま」がその手掛かりになるようお願いしつつ取り組んでいます。情報、寄稿をどんどんお寄せください。(GTH)

# マンスリースケジュール3月



日・曜日

2020

<b>3/1 日</b>	四旬節第1主日	典礼委員会	社会活動委員会
2 月		卓球(13~17)	
3 火	ミサ10:30~	信仰講座11:00~	病者高齢者訪問(13:30~) 高齢者支援委員会
4 水			
5 木		オカリナ(13~15)卓球(13~17)	
6 金		十字架の道行13:00~	主日の聖書を読む会(14:00~)
7 土	教会清掃(第3,6,7地区)	英語クラブ(14~)	ロザリオの祈り(16:15~)
<b>8 日</b>	四旬節第2主日	四旬節黙想会(アベイヤ司教)	
9 月		卓球(13~17)	
10 火	ミサ10:30~	社会活動センター炊き出し(9:30~)	信仰講座11:00~ 入門講座13:00~
11 水			男の料理教室(17~)
12 木		卓球(13~17)	
13 金		十字架の道行13:00~	主日の聖書を読む会(14:00~)
14 土	教会清掃なし	英語クラブ(14~)	ロザリオの祈り(16:15~)
<b>15 日</b>	四旬節第3主日	ミサ10:00~	
16 月		卓球(13~17)	
17 火	ミサ10:30~	旧約聖書講座11:00~	病者高齢者訪問(13:30~)
18 水			
19 木		オカリナ(13~15)卓球(13~17)	
20 金		十字架の道行13:00~	主日の聖書を読む会(14:00~)
21 土	教会清掃(第5地区)・地区集会	英語クラブ(14~)	ロザリオの祈り(16:15~)
<b>22 日</b>	四旬節第4主日	ミサ10:00~	青少年委員会 共に歩む旅
23 月		卓球(13~17)	
24 火	ミサ10:30~	主日の福音の分かち合い11:00~	
25 水			
26 木			
27 金		十字架の道行13:00~	主日の聖書を読む会(14:00~)
28 土	教会清掃なし	広報委員会	ロザリオの祈り(16:15~)
<b>29 日</b>	四旬節第5主日	ミサ10:00~	
30 月		卓球(13~17)	
31 火			
4/1 水			
2 木		卓球(13~17)	
3 金		十字架の道行13:00~	主日の聖書を読む会(14:00~)
4 土	教会清掃(第6A地区)	英語クラブ(14~)	ロザリオの祈り(16:15~)
<b>5 日</b>	受難の主日(枝の主日)	ミサ10:00~	典礼委員会

★今月のお茶当番は第1・4地区です★

カトリック北須磨教会ホームページ <http://cathkitasuma.web.fc2.com>

葬儀用電話の運用は終了しました。緊急時は高橋神父(090-6329-5709)にご連絡ください。